

2019年6月10日

各位

株式会社 紀陽銀行

**「串本古民家・まちづくりプロジェクト」第一弾となる  
「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」の開業について**

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）が支援する「串本古民家・まちづくりプロジェクト」の第一弾として、串本町の歴史的資源である築約150年の古民家「とうそんてい稲村亭」などを宿泊および飲食施設にリノベーションした「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」が2019年7月1日に開業されることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本プロジェクトは、今後3年間を目処に「とうそんてい稲村亭」が位置する串本町の中心部にある古民家などを活用し、宿泊棟（客室10棟15室）・飲食施設などの整備を進める計画です。

紀陽銀行は、引き続き観光振興などを通じて、串本町の地域活性化に貢献してまいります。

## 記

## 1. 「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」について

名 称	NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道
所 在 地	和歌山県東牟婁郡串本町串本879番地1
施 設 内 容	宿泊施設（客室3室・受付）、飲食施設（レストラン、カフェ）
開 業 日	2019年7月1日（月）
対 象 物 件	<small>とうそんてい</small> 稲村亭など古民家2棟

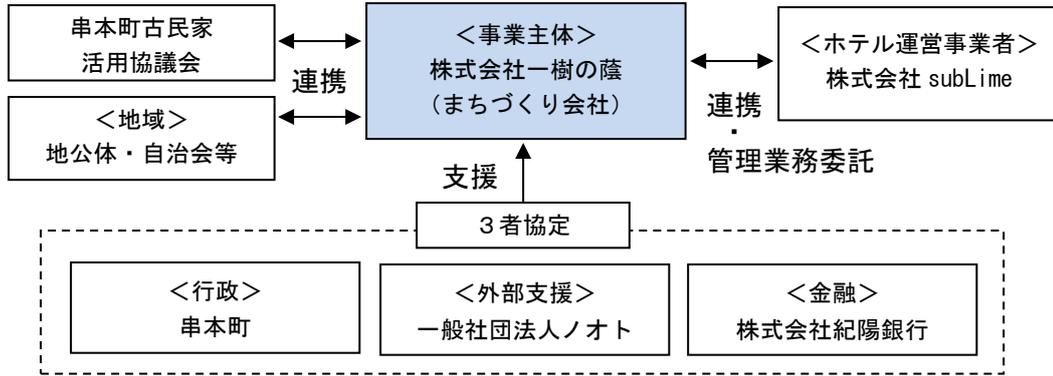
※開業に先がけ、本日（2019年6月10日）関係者を招いたオープニングセレモニーとメディア向け内覧会を開催。

## 2. 「串本古民家・まちづくりプロジェクト」への支援について

当行は、串本町の古民家などを活用し観光振興を効果的に推進する「串本古民家・まちづくりプロジェクト」（以下、本プロジェクト）の事業主体である「株式会社一樹の蔭」に対し、資金面の対応などプロジェクト全体への包括的な支援をおこなっています。今後も串本町の地域活性化を図るため、本プロジェクトへの積極的な支援を継続してまいります。

なお、本プロジェクトへの支援は、当行および串本町（町長：田嶋 勝正）、一般社団法人ノオト（代表理事：金野 幸雄）が2017年9月に締結した「和歌山県串本町の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた包括連携協定」に基づく取り組みです。

【支援体制】



＜「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」<sup>とうそんてい</sup> 稲村亭（客室1室・レストラン）＞

【改修後の<sup>とうそんてい</sup>稲村亭外観】



【改修前の<sup>とうそんてい</sup>稲村亭外観（ご参考）】



【<sup>とうそんてい</sup>稲村亭の客室】



【<sup>とうそんてい</sup>稲村亭内のレストラン】



## 【ご参考】

### 1. 串本町について

本州最南端のまち串本町は、ラムサール条約に登録された海や歴史的資源があるほか、柑橘類や水産物など、地域資源が豊かなまちです。本プロジェクトへの支援により、串本町の豊富な地域資源の有効活用につながるとともに、串本町がめざす「観光振興による地域経済活性化」促進の効果も期待されます。

### 2. 「<sup>とうそんてい</sup>稲村亭」について

稲村亭は明治初期に串本に住んでいた資産家・神田直堯氏が建てた邸宅（棟上げは1874年、築約150年）です。海岸に漂着した1本のスギの大木から奥座敷2間（8畳と10畳）の柱や壁、障子の棧や小型の家具までを造り、直堯氏はこの奥座敷で隠居生活を楽しんだとされています。なお、スギの流木は、その昔大飢饉のとき、米を無償で提供してくれたお礼として地元の漁師が贈ったものです。

### 3. 「株式会社一樹の蔭」について

串本町の歴史的資源を活用したまちづくりに関して、資金調達やリノベーション、維持、管理および運営をおこなう会社として、代表者である博多敏希氏および株式会社NOTE（代表取締役社長：藤原岳史）の出資によって設立されたまちづくり会社です。

商号	株式会社一樹の蔭
設立	2017年11月22日
所在地	和歌山県東牟婁郡串本町串本879番地1
代表者	博多 敏希
資本金	100万円（博多敏希氏および株式会社NOTEの出資）
事業内容等	串本町の歴史的資源を活用したまちづくりに関して、資金調達やリノベーション、維持、管理および運営を実施

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」につながる取り組みです。

